

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んで
ご意見をお寄せくだ
さい

区議会議員 南恵子
電話3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

街路灯電気代負担に悲鳴 補助金増を

商店街連合会の要望寄せられる

「売り上げが下がる一方なのに電気代負担が大変。増額してほしい。」と多くの区内商店街で共通の願いが共産党にも届き、各委員会で取り上げました。

商店街装飾灯は防犯対策
にもなっている

区内にある大きささまざまな商店街。夜になると灯る商店街の特徴を備えた装飾灯は、買い物をしやすくするだけでなく、防犯にも役立っています。区が設置している街路灯と同じ役割を持つ装飾灯に補助金を出しています。

ところが、補助金額は23区でさまざまです。品川区の場合、基本は装飾灯1本につき5600円で、維持経費の3割程度の額になります。しかし、江戸川区は全額補助、足立・江東・荒川区は4分の3補助、練馬区は3分の2補助をしています。また、補助金は商店街の規模によって違いがあることがわかりました。

不況下、電気代はあがる
一方で負担ふえるだけ

商店街連合会と7月に懇談し

たときに、装飾灯電気代が各商店街の大きな負担になっている話が出されました。そして、補助額の増額を求められました。

商売をやめた方が、電気代負担の重さを知っているのに引き続き拠出してきているとか、店舗がなくなってマンシヨンになったために電気代収入が減って維持が大変など厳しい実態が次々に出されました。

防犯とまちの賑わいに照明は必要です。不況な時だけに明るく町を照らすことは大事です。

議会で取り上げたのは
日本共産党だけ

日本共産党は、懇談会以後、この問題を繰り返し取り上げ増額するよう求めてきました。また、第3回定例区議会では一般質問し、決算委員会の商業振興の項と総括質問で質問。

総括質問は南が行いました。内容は、①装飾灯の役割について、②他区と比べても補助率が

区名	補助金額	
	1本あたり年額〇円という形で補助	かかった電気料に対して〇%という形で補助
品川区	5,600円 アーチ1基(装飾灯2本) 5,600×2=11,200	(実質補助率は3割程度)
千代田区		1/3補助
中央区	①15,000円	②1/3補助
港区	13,000円	
新宿区	ワット数に応じて3,100円～16,000円	
文京区		1/2補助
台東区		1/3補助
墨田区		1/2補助
江東区	【装飾灯・アーチ】①月額600円×設置月数=年7,200円	②3/4補助
	【アーケード】①900円×m数×1/10×設置月数	②3/4補助
目黒区	装飾灯 5,680円 アーチ11,360円	
大田区	8,300円	
世田谷区	4,500円～16,200円	
渋谷区	【片アーチ式装飾灯】一基につき3万円 【アーチ式装飾灯】一基につき10万円	
中野区	白熱灯、蛍光灯、水銀灯及びワット数より3,120円～5,700円	
杉並区	【装飾灯1本・アーチ1組につき】 道路幅7m以上(250W相当) 12,144円 4～7m(100W相当) 8,292円 4m未満(40W相当) 3,120円 【アーケード】	
豊島区		50%補助 *法人は60%、 区商連未加盟団 体は40%
北区	5,300円(アーチ1基で2基分、蛍光灯3本で1基分と計算)	
荒川区	①3,200円	②3/4補助
板橋区	装飾灯 【水銀灯】7,920円 【蛍光灯】3,420円	
練馬区		2/3補助
足立区		3/4補助
葛飾区	5,500円	
江戸川区		全額補助

低いことをどう思うか、③せめて半額補助に増やすべきだなどです。23区の中で品川の水準は中位です。商店街は人が大勢集まる場所ですし、不況下だけに明るくないと活気も出てきません。また、防犯上も明るさは必要です。装飾灯が持つ意味は大きなものだと思います。左の表は23区調査の一覧表です。ご覧ください。

自民党はこの質問をする日本共産党にいつもヤジを飛ばします。その内容は、「懇談をしたから取り上げたのか」とか、「予算に反対しているのに要求をするのか」など、低次元です。

自民党は、各団体と「ヒアリング」という懇談会を開いているようですが、その席上でわが党が聞いた同じ内容の要望が出されたはずですが。毎年要望されていながら質問に取り上げないのでは、何のためのヒアリングでしょうか。

議員の仕事の第一は、まず声を聞き、政策に反映させることです。役割を果たす努力をお互い切磋琢磨して取り組んでいきたいものです。

それにしても自民党は無責任

